

## 第3回 兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた

### 淡路地域モデルルート推進協議会 議事要旨

1. 日 時 令和元年12月26日(木) 14:00~16:00

2. 場 所 兵庫県洲本総合庁舎 3階 会議室A

3. 出席者 別紙のとおり

#### 4. 議 事

- (1) ナショナルサイクルルートについて
- (2) アワイチ利用状況、サイクリストアンケート調査結果について
- (3) サイクルツーリズム推進に向けた施策の取りまとめについて
- (4) 今年度の主な取組状況について
- (5) 今後の進め方について

#### 5. 議事概要

##### ○主な意見

(3) サイクルツーリズム推進に向けた施策の取りまとめについて

- ・どのようなサイクルステーションを整備すればよいか。先進地の視察結果などを教えて頂きたい。

→【事務局】12月に自転車活用推進本部事務局に視察頂いた際に意見を頂いた。淡路島は飲食や観光の魅力は備わっているが、サイクリストの受け入れ体制が十分ではないという評価だった。南あわじ市の「陸の港西淡」のサイクルステーションのような着替えや自転車整備スペース、コインロッカーなどを備えた施設の整備を進める必要がある。

全国的に有名な施設としては、茨城県の土浦駅に「りんりんスクエア土浦」という施設があり、駅と直結しており、レンタサイクルショップ、観光案内所、シャワールームなどが整備された大規模な施設で、今後サイクリスト向けのホテルも整備される予定である。

- ・国・県・市・民間の役割分担の中で、サイクルステーションの機能を個々に一つずつ積み上げていくのと、土浦のように機能をまとめた大きな施設を整備するのでは進め方が違ってくと思うが。

→【事務局】淡路島は大きな島なので、大きな拠点の一つ作るより複数のポイントを作る方が適していると考えている。現在、各市が進めている拠点整備（岩屋港のポートターミナル再整備や道の駅のリニューアル整備等）を進めていくことで、ナショナルサイクルートの基準を満たすようなサイクリスト受入体制が整うと考えている。

アワイチを1日で回る場合、慣れたサイクリストでも休息時間を短くして回っている。あらゆるレベルのサイクリストを受け入れていくことを考えると、宿泊して回ってもらったり、数回に分けて回ってもらったりすることに対応していく必要がある。そのため、適度な間隔で拠点施設を設けた方が良いというアドバイスを自転車活用推進本部事務局にも頂いている。

- ・地域をもっと巻き込んでいく方法はないか。食材であれば、民間の各店舗と連携しながら、一つのメニューを複数の店舗で提供するなどの盛り上がりがある。自転車でも、地域での広がりを作っていけないか。

→【事務局】宿泊施設や飲食店等と連携して、地域全体としてサイクリストを歓迎する取り組みを観光協会と検討している。例えば、サイクリストを優遇するサービスの提供や空気入れなどの貸出しを行う店舗を募って、観光協会や行政がパンフレットやマップ、ホームページなどでPRするなどの取り組みを行い、サイクリスト受入体制の向上と地域活性化の両立を図っていきたいと考えている。アンケート調査でも、サイクリストを歓迎している店を知りたいという意見があったので、先進地の取り組みを参考に進めていきたい。

→【観光協会事務局】地域と協力して観光を磨き上げるという努力が必要と感じている。行政には、民間ではできないサイクリスト受入施設や道路整備をお願いしたい。

- ・ビワイチは、淡路と比べてサイクリストを地域が迎え入れる体制がどのように充実しているのか。

→【事務局】淡路と琵琶湖の最大の違いとして感じているのは、住民主体のサイクリング団体の数や活動があげられる。「輪の国琵琶湖推進協議会」のような行政の事業を受託している大きな団体もあれば、それぞれの市にも様々な目的を持ったサイクリング団体が存在している。滋賀県では、自転車で地域を盛り上げようという思いを持った住民による活動が非常に活発。地域の盛り上げのための施策として、サイクリング団体に対する支援も必要と感じている。

- ・サイクリストはトイレをどうしているのか。アンケートの結果では「ラックがほしい」などの意見は出てくるが、トイレの意見がない。今後マップを作成する際は、トイレとして利用できる施設の案内が重要ではないか。

→【事務局】アンケート結果に反映されていないが、女性連れのサイクリストからは由良から灘にかけての区間でトイレに困るという意見があった。また、島の東側にはコンビニが数あるも

の、女性はある程度綺麗なトイレでないと、嫌がる傾向がある。道の駅等のトイレの水準も上がっている、そういった高水準のトイレを一定間隔に設置するという事が、自転車に限らず女性を観光に呼び込むためには重要と感じている。

- ・ビワイチに積極的に取り組んでいる民間団体が自然発生的に出来た物なのか、行政の呼びかけに応じて出てきたものなのか。待っていてもなかなか自然発生は難しいと思うので、行政が呼びかけたのかを掘り下げた方がいいかと思うが、どうか。

→【事務局】琵琶湖の場合は団体の起源が様々に琵琶湖の環境保護をルーツとする団体や地域資源を使った町おこし団体だったものもある。これらのNPO法人等に対して滋賀県の各自治体では、マップ作成や自転車イベントなど、サイクリング関係の業務を委託し、団体の活動を積極的に支援している。

- ・島の西側はすぐ左側に防波堤があるような路肩が狭い状況で、ロングライドの際は警察側で大型車を通行止めにして対処しているが、実際にモデルルートに指定して、5年後には倍の交通量を見越すとすると、西浦の方の整備・安全性の確保は可能なのか。

また、民間の方はサイクリング推進についてどう考えているのか。自転車を対象に商売をされている方やサイクリストだけではなく、地元の一般住民からも意見を聞くべきではと思う。

→【事務局】西浦には標準幅の路肩もとれていない区間がある。そういった区間で自転車が連なって走っていると、自動車は追い抜くのも難しく、自動車・自転車双方にとって望ましくない状況である。西浦の県道に関しては、家屋等の移転が不要な箇所などで順次広げていく事を考えている。路肩を十分確保し、車が自転車を追い抜ける走行空間を適当な間隔で確保することで、双方がうまく共存していける道路にしていきたい。

- ・手ぶらで淡路ロングライドを楽しめるというのも面白いと思う。例えば、淡路市でE-Bikeを借りて海岸線を走り、危なそうな箇所では自転車を返して、公共交通機関で移動し、洲本市に入ったらまたそこでE-Bikeを借りる。これまで、借りたレンタサイクル店に返すのがルールだったが、3市が連携して、こういったスタイルができないだろうか。

- ・淡路島は鉄道がなく、公共交通は高速バス・コミュニティバスが主体で必ずしも二次交通が十分とは言えない。公共交通機関で来島してもらい、淡路島を巡ろうとした時、公共交通が無くて行けないエリアがかなりある。そういうエリアに対して自転車で補完するような仕組みやコース作りが必要ではないか。淡路島に人を呼ぶために何が欠落して、どうすればより自転車が有効に機能するのかという発想で考えるのも良いと思う。

→【事務局】自転車活用推進本部の視察の際にも、淡路島は大きな島であるため、自転車を乗り

捨てできる仕組みを作った方が良いとのアドバイスをいただいている。しまなみ海道も同様の仕組みを作って利用者の間口を広げ、普段サイクリングしないような層を取り込む事に成功している。また、E-Bike に関しても、淡路島は山地も多いので、可能性を広げるためにも普及させたいと考えている。E-Bike はバッテリーの問題もあるので、乗り捨てと同時にバッテリー交換ができる仕組みを作っていく事も大切だと考えている。

#### (5) 今後の進め方について

- ・万博までといえどあと3年ほどしかない。担当者レベルで役割分担をしっかりと決めて、できる所から始めていくのが良い。

民間の力も借りて、どんどん広げていく必要もある。ラック、給水、トイレだけでもいいので、そういった施設を置いてくれる所を増やしていくのが重要と思う。大鳴門橋の自転車道については現在検討頂いているが、淡路島の中をきっちり固めながら、あちこちから入ってくる人を増やすという意味合いで、他地域との連携が必要になってくる。県が違くと調整しにくいところがあるが、四国側と自転車の案内表示を共有できるシステムを構築し、瀬戸内全体を日本あるいは世界に注目してもらえるようにもっていければと思っている。

→【事務局】他のサイクルルートとの連携は重要と考えている。サイクリング関係の会議・委員会に出席することで交流が広がっており、実際にビワイチや泉州との連携につながっている。

第3回 兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた  
淡路地域モデルルート推進協議会  
出席者名簿

(別紙)

日時：令和元年12月26日(木) 14:00~16:00

場所：兵庫県洲本総合庁舎3階 会議室A

<委員>

区分	氏名	役職等	出欠
道路管理者	日野 雅仁	国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所長	○
	山田 弘	兵庫県県土整備部土木局道路保全課長	○
	小山 健一	兵庫県県土整備部土木局道路企画課長	○
	雨宮 功	兵庫県淡路県民局洲本土木事務所長	○
	太田 久雄	洲本市都市整備部長 (代理：建設課長 高町 直孝)	○
	喜田 憲和	南あわじ市産業建設部長	○
	高田 茂和	淡路市都市整備部長	○
交通安全	衣笠 泰三	兵庫県警察 洲本警察署長 (代理：交通課長 木下 義男)	○
	藤原 孝治	兵庫県警察 南あわじ警察署長	
	葉狩 哲幸	兵庫県警察 淡路警察署長 (代理：交通課長 藤原 正年)	○
	後藤 忠毅	淡路地区交通安全協会連絡協議会 会長	
観光	吉野 康之	兵庫県淡路県民局県民交流室 参事	○
	永岩 秀俊	洲本市産業振興部 参事(商工観光担当)	○
	新阜 照久	淡路市産業振興部 (商工観光担当) 部長	○
	福浦 泰穂	(一社)淡路島観光協会 事務局長	○
交通	森崎 芳文	淡路交通(株) 運輸部長 (代理：業務課長 東根 孝行)	○
	橋本 哲雄	本四海峡バス(株) 常務取締役 運輸部長	○
	清水 紀晶	(株)淡路ジェノバライン 安全統括管理者	
利用者	原 拓生	淡路島自転車推進協議会 理事長	

(順不同・敬称略)